

2024年度 第2回栄養士連盟と栄養士会連絡協議会



場所：（公社）日本栄養士会会議室（会場 & Web会議）

日時： 2024年9月14日（土） 11：30～12：20

参加者（敬称略）

日本栄養士会と栄養士連盟が栄養士の施策・政治活動について意見交換をする会議です。

日栄：中村、鈴木、塚原、下浦、阿部、赤尾、中田、諸岡、元家、西村、原
連盟：井上、福永、海老原、浜岡、佐藤、猿渡

【日本栄養士会 中村会長】

医療人としての目的を達成するために連盟と協力していきたい。

【日本栄養士連盟 井上会長】

栄養士制度発展のために連盟活動をしてきた。次世代に継承していくために、その内容をまとめた資料を作成していく。

【日本栄養士会】

阿部常務より説明

今年度新体制になり初めての連絡協議会で
栄養士会理事・連盟常任幹事会が自己紹介をしました。

(1)新執行部の顔合わせ

(2)2025年度予算・税制等に関する要望に向けての意見交換

2024年度（令和6年度）
予算・税制等に関する要望
を基に話し合われました。

①こどもに対するの栄養政策の展開

- ・こども家庭庁において日本栄養士会からの働きかけもあり、「こども大綱」の策定を進めるための実態調査に予算がついた。更なる調査が研究への段階に進められることが望まれる。
- ・医療的ケア児を含む障害児に対する食生活支援・栄養指導の支援について栄養教諭が参画するには医療との連携を構築するなど、関係各所との調整が必要である。

②栄養教諭に期待される役割（職責）を遂行するための配置促進

- ・令和6年度の予算を計上し、加配措置が実施された。
- ・学校関係の人員配置等については各都道府県が主体となるため、各栄養士会は都道府県に対して要望を上げていくことが重要である。

※要望については、国の政策に対して管理栄養士・栄養士がどのように関わられるかが重要である。基盤となる会員の動向を把握し、会員数を確保・増員に繋げるための体制整備が大切である。

【日本栄養士連盟】

会員増対策について

福永副会長より報告

組織強化のために会員増対策は重要である。会員管理システムを活用して本部は会員の動向を把握し、都道府県支部は会員増に努めている。

編集後記

今回の連絡協議会では2025年度予算・税制等に関する要望に向けて活発な意見交換が行われました。管理栄養士・栄養士の要望の実現のために連盟は栄養士会と連携しつつ、役割を担いたいと思います。その実現のために連盟の会員数の増加が是非とも必要です。取り組んでいきたいと思っております。

副会長 海老原昌子